

平成26年 9月11日

白木 渡教授が平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました

9月10日、総理大臣官邸(大ホール)において平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰の表彰式が執り行われ、白木渡(工学部教授、香川大学危機管理研究センター長)が平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』(昭和57年5月11日閣議了解)に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰されるものです。平成26年度は、防災功労者内閣総理大臣表彰として、4個人、36団体が表彰されました。

表彰式の様子は、下記の URL をご覧ください。

http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/actions/201409/10bousai.html

【功績の概要】

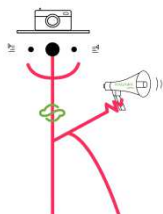
白木渡氏は、信頼性工学の第一人者として、社会基盤施設・設備の信頼性設計の推進(ハードウェア対応)、災害発生時の避難誘導対策の強化(ソフトウェア対応)、防災・危機管理の人材育成(ヒューマンウェア対応)という三位一体対応の重要性を提唱し、学会活動等を通して防災・危機管理の教育研究の普及並びに地域貢献活動において優れた成果を残しています。

特に土木学会では、安全問題研究委員会委員長(平成24年度～)の要職を務め、土木学会長の命により「土木工事の技術的安全性確保・向上検討小委員会」の委員長として、国、業界、学会を含めた新たな工事安全管理体制の在り方を検討しています。また、日本材料学会では、信頼性工学部門委員会委員長(平成24年度～)を務め、材料、機械、電気、土木、建築、航空等広域にわたる工学研究分野への信頼性工学の普及・発展に尽力し、日本材料学会支部功労賞(平成22年度)を受賞しています。

また同氏は、文部科学省特別経費「四国大災害に対する危機管理教育研究の推進と地域防災拠点の形成」(平成24～27年度)の実施責任者として、平成24年5月8日に「香川地域継続検討協議会」を設立し同会の会長に就任しています。協議会には、国、県、市町、民間会社等18組織が参加し、平成25年度までに15回の勉強会、7回の協議会を主催するとともに、平成25年3月に「香川地域継続計画(DCP)」の骨子とアクションプランを作成しています。この協議会は、地方の国立大学が事務局を務めるプラットフォーム(協議会)方式で運営される画期的な取り組みで、内閣府から優れた取り組みとして紹介され全国的に注目されています。

【参考】内閣府記者発表資料:平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

<http://www.bousai.go.jp/kohou/oshirase/pdf/20140829-2kisya.pdf>



問い合わせ先

白木 渡 (香川大学危機管理研究センター長・工学部教授)

住所: 〒760-0396 香川県高松市林町 2217-20

TEL/FAX: 087-864-2243 (直通)

E-mail: shiraki@eng.kagawa-u.ac.jp

香川大学危機管理研究センター (担当: 徳井)

TEL: 087-864-2523/FAX: 087-864-2549 (直通)

E-mail: kenkyusenm@iim.ao.kagawa-u.ac.jp